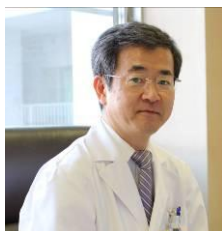


うぐいす

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

編集発行 県立千厩病院 広報委員会
TEL 0191-53-2101



新年を迎えて

千厩病院長 吉田 徹



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、当院には嬉しいニュースが二つありました。一つは病院機能評価の更新が無事終了した事です。これは5年に一度、第三者機関によって病院機能が審査されるもので、常勤医師不足で運営が困難な中、地域の住民の皆さんと協力して病院運営している事などが高く評価されました。

もう一つは県営医療貢献賞を受賞した事です。これは震災後の急性期の対応、回復リハビリ部門を大東病院から移管し順調に運営している事、大東病院の入院再開のバックアップなど、震災後当院が3年間地道に積み上げてきた事が評価された事による受賞です。病院の現状は、診療科の減少に伴い、地域の皆様にはご迷惑をおかけしている部分もありますが、対外的に高い評価を受けた事は、千厩病院を利用されている皆様にとってもうれしい知らせであったと思います。

超高齢化社会に向かって、それぞれの病院が果たすべき機能が明確化され、地域毎にその機能を分担する事により「地域完結」型医療を展開する事が国の方針として打ち出されています。

その中で、当院に新しく課せられた大きな役割の一つは「回復リハビリ」部門です。

高齢者に多い疾患である脳梗塞や骨折の急性期の治療を終えた患者さんを受け入れ、集中的に質の高いリハビリテーションを行う事により、早期に自宅に帰り自分の生活に戻る手助けをすることが目標です。回復リハビリ病棟は開設から約1年半経過しましたが、その運用は順調に推移しており、在宅復帰率は、開設から1年半の実績が約90%で、重症患者さんの回復率も非常に高く、質の高いリハビリテーションの提供が実績として示されており。

現在、近隣の病院からはもちろんのこと、県境をこえて気仙沼からも多くの患者さんを受け入れておりますが、今後は更なるレベルアップを図り、県南地域のリハビリ施設の核として機能していきたいと考えております。

昨年も、地域の多くの方々からボランティア活動などを通じてご支援を頂きました。地域の病院は地域のための病院であり、その地域に住んでいる方々の意見が自由に反映される病院でなければなりません。これからも皆さんと共に「地域のための病院」としてのあり方を考えながら、「全ての人々に安らぎと希望」を与えられるような病院運営を展開していきたいと思っております。

今年も一年間どうぞよろしくお願いいたします。



本誌の内容

- 1P 吉田院長年頭の挨拶
- 2P トピックス(ふれあい慰問の会・花と風を愛でる会・院内文化祭・ミニコンサート)
- 3P 院内クリスマスコンサート 地域医療懇談会のお知らせ 出前講演のご案内 面会制限について
- 4P 咳エチケットと手洗いでインフルエンザ予防を！！



花と風を愛でる会

平成26年9月17日(木)午後3時より

当院中庭で環境づくり委員会主催の「花と風を愛でる会」が開催されました。

毎年、地域のボランティアの皆さんに、院内の花壇を整備していただき、癒しの空間を楽しませて頂いております。そこで当院を支えて頂いているボランティアの皆さんと患者さん、職員との親睦を深める会が開催されました。

この日は暖かな日でしたので入院患者さんも含め約50名の参加を頂きボランティアの皆さんや職員と一緒にお茶と栄養管理室職員の手作りお菓子を食べ、綺麗に咲いた花を愛でながら、また今年はボランティアの皆さんから踊りと歌を披露していただき楽しいひと時を過ごしました。吉田院長から「地域の皆さんには感謝でいっぱいです、本当にありがとうございます。」との挨拶で会は閉会となりました。



院内文化祭

平成26年10月21日(火)から23日(木)の3日間、当院1階待合ホール付近で文化祭を開催しました。環境づくり委員会主催で行われ、癒しの空間として、患者さん、ご家族、職員等の作品がたくさん展示されました。また今年は看護科から「てるてる坊主」の作品も集まりました。どれも皆、力作揃いで職員の意外な趣味を発見したり、作品の出来栄えに感嘆したりと、診療の待ち時間や入院患者さん、ご家族など足を止めてご覧になっていました。来年も皆さんの作品をお待ちしております。



朝顔のたねフシゼンツ

ミニコンサート第3弾

『患者さん・ご家族・職員の皆さんへ 心を癒す音色をお届けします』ということで今年は黄金井 脩(こがねい おさむ)さんによるギターの弾き語りのミニコンサートが、当院ボランティア団体「朝顔のたね一千院病院を守り隊」(会長 遠藤育子さん)の企画で開催されました。

平成26年10月27日(月)午後3時より入院患者さん、ご家族、外来患者さん、職員など約70人が集った中、黄金井さんは自身が作った曲の他、ビールのCMでおなじみの『VOLARE』など乗りのいいナンバーや、時代劇のエンディング『インスピレーション』のしっとりとした曲、島倉千代子の『東京だよ、おっかさん』など馴染みのある曲など6曲を披露し、皆さんを元気づけてくださいました。演奏の合間には曲にまつわるさまざまなエピソードなどユーモアを交えながら紹介し、会場にいらした皆さんは共に楽しく過ごし、癒しの音色を感じているようでした。



小羊幼稚園慰問



平成26年11月13日(木)小羊幼稚園(堀 秀子園長)の皆さんが、「収穫感謝祭」の果物等を持って、歌とお遊戯を披露してくださいました。また、かわいい園児のみなさんから、お手紙とお花を「はやくよくなってください。」などのやさしいことばと一緒に患者さんやご家族、職員へ手渡してくれました。たくさんの元気をいただきました。園児の皆さん、保育士の皆さん、ありがとうございました。

院内クリスマスコンサート

毎年恒例のクリスマスコンサートを12月19日(水)15時から1階待合ホールに特設ステージを設置し開催いたしました。

入院されている患者さんやご家族合わせて約60名が参加し、一足早いクリスマスを楽しみました。会場に飾られた手作りの「夢灯り」と「クリスマスリース」やシクラメンやオンジジューム等、たくさんの花の中で演奏が始まりました。今年も2組の団体の参加をいただき、今回初出演の一関『ベルの会』の皆さんによりミュージックベルの演奏「ジングルベル」など4曲と、会場の皆さんにもベルが渡され、一緒に「いつでも夢を」の演奏をしてベルに親しみました。次に昨年から2回目の『一ノ関女性センターオカリナクラブ美智〜ず』有志の皆さんによりオカリナ演奏が「赤鼻のトナカイ」など4曲を、そして、当院職員により「ジングルベル」などハンドベル演奏2曲を披露いただきました。サンタクロースに扮した高橋事務局長が指揮をとり、今年も吉田院長の伴奏に合わせて当院コーラス部が1曲、最後は出演者の皆さんと会場の皆さんで復興応援ソングの「花は咲く」を大合唱しました。ホールいっばいに歌声を響きわたらせ癒しの時間を過ごしました。



千厩病院地域医療懇談会の開催について

千厩病院では、病院運営の現状を地域の皆様に説明し、ご意見・ご要望などについて話し合いを行うために、平成26年度第2回千厩病院地域医療懇談会を開催いたします。

どなたでも参加できますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

- ★ 日 時 平成27年2月4日(水) 午後2時～
- ★ 会 場 一関市役所 千厩支所 大会議室(2階)
- ★ 問い合わせ 千厩病院事務局 地域医療福祉連携室 電話 0191-53-2101

～出前講演を実施しています～

当院では、地域の皆様方との関わりを大切にするため、また、医療の事、健康の事の知識や意識を高めていただくよう、職員を講師として派遣しています。

出前講演の問い合わせについては、医事経営課または千厩病院ホームページでも確認できます。

<http://www.senmya-hospital.jp>

千厩病院

検索

カチ

ただいま、千厩病院では面会制限を実施しています！

当院では現在、面会制限を実施しており、原則としてご家族以外のお見舞いなどの面会はできません。

抵抗力の弱い入院患者さんへの感染防止対策を強化するうえで必要な措置のため、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

(病院総合案内までお問い合わせ願います。)

咳エチケットと手洗いでインフルエンザ予防を！！

本格的な冬をむかえ、一関市内でもインフルエンザウイルスによる感染が増加しています。
風邪症状のある場合はマスクを着用し、こまめな手洗いを心がけて体調管理にご留意ください。

★咳エチケットと手洗いについて★

Q：咳エチケットとは？

A：咳やくしゃみをするとき、唾（つば）などに病原体が含んでいる可能性が強いので気をつけましょうということです。

- ① 咳やくしゃみをするときは、他の人から顔をそらせましょう！
- ② ティッシュなどで、鼻や口を覆いましょう！
- ③ 咳やくしゃみが出ている間は、マスクの着用が推奨されています！

正しいマスクの着用方法



- ・ 鼻と口の両方を正しく覆いましょう
- ・ ゴム紐を耳にかけます
- ・ 顔にフィットするようにつけます



- ・ 鼻の部分に隙間がある
- ・ あごが出ている

Q：手洗いとは？

A：石鹸やハンドソープを使用して最低15秒以上、手のひら・手の甲・指の間や爪の間・手首までしっかり洗いましょう。
洗った後は、清潔なタオルなどで水分を十分にふき取ります。
アルコールを含んだ消毒液の手洗いも効果的です。

Q：インフルエンザ予防とは？

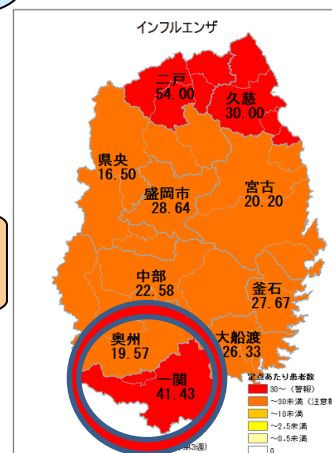
A：インフルエンザ流行期は、人が多く集る場所から帰宅したら手洗いを心がけましょう。
普段からの健康管理も重要です。十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取し抵抗力を高めることもインフルエンザの発症を防ぐ効果があります。

咳エチケットと手洗いでインフルエンザ流行期を乗り切りましょう。

感染管理認定看護師 主任看護師 石川 泰洋



★厚生労働省のポスター★



★岩手県感染症情報センターより★

平成27年第3週
1月12日～1月18日
21日公表分

「すべての人びとに安らぎと希望を」



復興と再生へ

~Together As ONE~

再生への願い【若草リボン】

<http://www.senmya-hospital.jp>

岩手県立千厩病院

〒029-0803

岩手県一関市千厩町千厩字草井沢32番1

TEL 0191-53-2101

FAX 0191-52-3478

編集・発行 岩手県立千厩病院広報委員会